



# デジタル・スマートシティ浜松の取組 ～国土縮図型都市・浜松の挑戦～

2022年4月4日

Digital Smart City HAMAMATSU



浜松市長 鈴木 康友

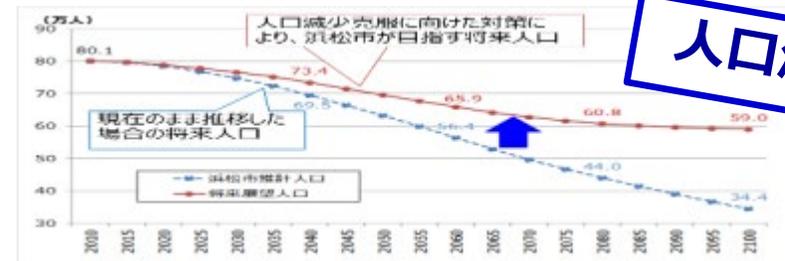


## 国土縮図型の政令指定都市・浜松

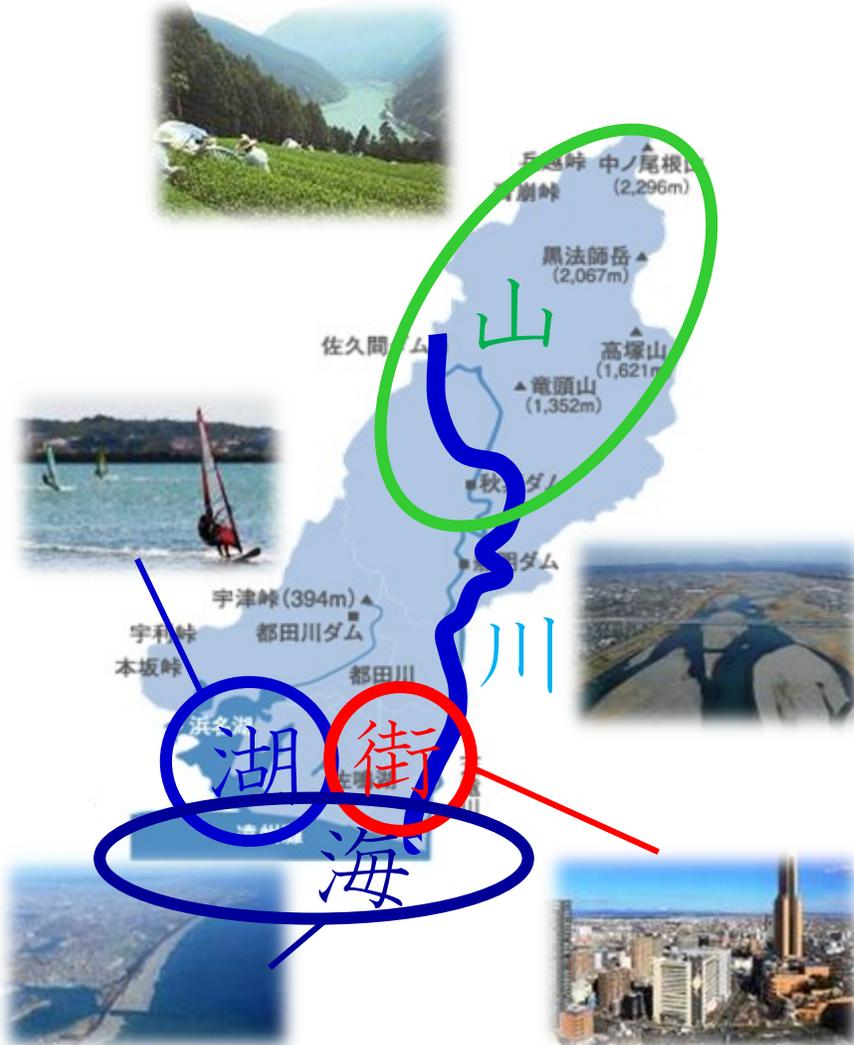
全国の市町村が抱える課題を凝縮した政令指定都市

- ① 広大な市域【全国第2位】  
(市域の約67%は森林)
- ② 道路総延長【全国第1位】
- ③ 橋梁数【中部地整管内第1位】
- ④ 過疎地域を内包  
(みなし過疎地域：市域面積の約50%)

<人口の将来展望：人口ビジョン>



浜松で持続可能な都市モデルを確立できれば日本全体のモデルとなる

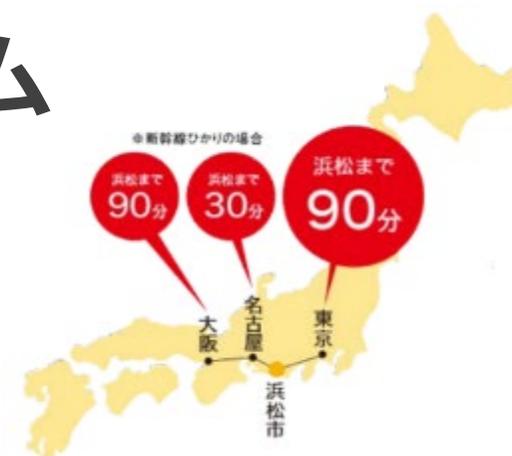


# 浜松市の紹介

- ① **健康寿命** 三期連続日本一
- ② **幸福度** ランキング 政令市第2位 (2018年：1位)
- ③ **SDGs未来都市** (2018年度第1回認定)
- ④ **再生可能エネルギー導入容量** 全国第1位  
 ※浜松市域“RE100”表明 (令和2年3月)
- ⑤ 日本有数の「**ものづくりのまち**」



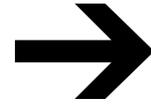
- ⑥ **スタートアップ**・エコシステム  
 グローバル拠点都市
- ⑦ 世界に誇る「**音楽の都**」
- ⑧ **農業産出額** 全国第7位



背景：全国共通の課題

社会の激変

- ・人口減少
- ・急激な高齢化



地域コミュニティが

**崩壊**

サステナブルな地域社会の構築が必要

**デジタル**を活用し**共助型社会**を実現

**産業の活性化**により**活力ある地域**を創造

サステナブルな地域社会の構築に向け注力している「**デジタル・スマートシティ政策**」と「**スタートアップ政策**」についてご紹介する

# デジタル・スマートシティ浜松の推進

## デジタルファースト宣言

■ 宣言日 2019年10月31日

### ■ 目的

人口減少・少子高齢化をはじめとした社会課題が深刻化するなか、AI・ICT等先端技術やデータ活用などデジタルの力を最大限に活用し、持続可能な都市づくりを推進する。

### ■ 戦略分野

- (1) 「都市づくり」のデジタルファースト【都市の最適化】
- (2) 「市民サービス」のデジタルファースト【市民サービス向上】
- (3) 「自治体運営」のデジタルファースト【自治体の生産性向上】

### ■ 浜松市フェロー



陳内 裕樹氏



東 博暢氏



関 治之氏



日下 光氏



南雲 岳彦氏



白坂 成功氏



## 【官民連携組織】

R2.4.1設立

### 浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム

代表：浜松市長、事務局：浜松市（推進事業本部）

#### デジタル・ガバメント分野

浜松市所管部局

#### 防災・安全分野

浜松市所管部局

#### 教育・子育て分野

浜松市所管部局

#### 観光・商業分野

浜松・浜名湖  
ツーリズムビューロー

#### 産業(ものづくり)分野

浜松市スタートアップ戦略  
推進協議会

#### 運営委員会

※必要に応じ部会や  
分科会を設置

会員数:173  
(R4.3.29現在)

#### エネルギー分野

浜松市スマートシティ推進協議会

#### モビリティ分野

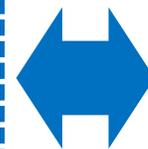
浜松市モビリティサービス  
推進コンソーシアム

#### 健康・医療・福祉分野

浜松ウエルネス推進協議会  
浜松ウエルネス・ラボ

#### 農林業分野

【林業】 静岡県農林技術研究所森林・  
林業研究センター  
【農業】 浜松スマート農業推進協議会 準備会



連携

## 【庁内組織】

R2.4.1設置

### デジタル・スマートシティ推進本部

本部長：市長、副本部長：副市長

事務局：デジタル・スマートシティ推進事業本部

デジタル・  
スマートシティ  
推進WG

デジタル・  
ガバメント  
推進PT

## 将来像

### ～デジタルで“繋がる未来”を共創～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化、コロナ禍の状況においてデジタルの力を最大限に活用し、「市民QoLの向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。

## 目指す方向性（基本理念）

### 「市民QoLの向上」と「都市の最適化」

#### 必要な視点1

#### オープンイノベーション

イノベーションの創出に向け、組織や分野等を超えた共創のまちづくりを推進します。



#### 必要な視点2

#### 市民起点/サービスデザイン思考

デジタルは、「市民QoL」「都市の最適化」のための手段と捉え、“市民起点”のまちづくりを推進します。



#### 必要な視点3

#### アジャイル型まちづくり

スモールスタートでまずチャレンジし、トライ&エラーを繰り返し、変化に強いまちづくりを推進します。



## 5原則

※G20スマートシティ都市連合が策定した5原則に準拠

#### 基本原則1

オープン/相互運用性

#### 基本原則2

包摂性/多様性

#### 基本原則3

透明性/プライバシー

#### 基本原則4

持続可能性

#### 基本原則5

安全・安心/強靱性

## 5原則を条例に規定

### 【背景】

- ・浜松市では、2019年10月に「デジタルファースト宣言」を行い、2021年3月に「デジタル・スマートシティ構想」を策定
- ・2021年9月に「デジタル社会形成基本法」が施行



パブコメ実施中

### 【特徴】

- ・デジタルを活用したまちづくりを推進する上での基本原則（5原則）を規定
- ・市の責務や市民等の役割を規定
- ・基本指針等の策定や推進体制の整備等を規定  
(基本指針：浜松市デジタル・スマートシティ構想)

### 【制定に向けたスケジュール】

- ・案の公表期間及び意見募集期間 2022年3月15日～4月14日
- ・市の考え方の公表 2022年5月
- ・議会への提案 2022年5月定例会
- ・施行 2022年7月1日

# グローバルに連携し、グローバルな視点を持って取組を推進

## G20スマートシティ都市連合 パイオニア都市

- G20 スマートシティ都市連合 パイオニア都市 に選定。  
(2020.10.28)  
(国内選定都市：加賀市、加古川市、浜松市、前橋市)



※2020.10.28開催の「第3回メディアワークショップ  
(主催：世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター)  
におけるパイオニア都市 基本合意書締結式

## デジタル・スマートシティ推進に おけるEUとの連携

EUのスマートシティプロジェクト「RUGGEDISED」に参加し、EU各都市とワークショップ等を通じ、知見やノウハウを共有

### ■ 参加都市

EU ブルノ（チェコ）、グラスゴー（英国）  
パルマ（イタリア）、ロッテルダム（オランダ）  
ウメオ（スウェーデン）

国内 鎌倉市、浜松市、玉名市  
※国内における事務局：内閣府



※RUGGEDISED(ラジェダイズド)：  
EU研究開発プログラム「ホライゾン2020」の中のスマートシティ実証プロジェクト「Light house  
(ライトハウス)」のプロジェクトのひとつ。

# デジタル・スマートシティ浜松 各分野の取組

## ウェルネス分野 健康寿命日本一



市民がいつまでも健康で幸せに暮らせる  
「予防・健幸都市」の実現を目指し、官民  
で取組を推進。

### <プロジェクト例>

- 生活習慣病保有者に対する生活習慣改善支援プログラム
- 健康診断のビッグデータ活用プロジェクト



## モビリティ分野 浜松版MaaS



浜松版MaaS構想に基づき、広大な市域や自動車産業が盛んな都市の特徴を活かした取組を推進。

### <プロジェクト例>

- 浜松テレワークパーク構想の推進
- デリバリープラットフォーム構築・利用促進
- 共助型交通の推進



## エネルギー分野 浜松市域 "RE100"宣言



再生可能エネルギー導入容量日本一の特徴を活かし、産学官金によるプラットフォームを形成し、様々なスマートプロジェクトを推進。

### <プロジェクト例>

- マイクログリッド事業
- エネルギーベストミックスによる電力確保



## 農林業分野 もうかる農業・ 林業成長産業化推進



生産性の向上や付加価値の創出に向けた、ICT活用によるスマート農林業の推進。

### <プロジェクト例>

- スマート農業の推進（補助金）
- 次世代施設園芸施設の導入
- 林道管理システムの構築



# Code for Japanの“Make our City”プロジェクトとの連携

Make our City



「わたし」主体のまちづくりを通してウェルビーイングを実現する

サービスレイヤー



関係人口



スタートアップ



シビックテック



NPO等

※牧島 デジタル大臣の浜松市視察

※サービスを創出するコミュニティの活性化が重要



都市OS  
(データ連携基盤)

やらまいか精神

デジタルファースト宣言  
デジタル・スマートシティ構想  
条例 (パブコメ中)

よそ者に寛容な土地柄

# Hamamatsu ORI-Project -事業概要-

## データ連携基盤のユースケースを官民で共に創る！

### — Hamamatsu ORI-Projectとは —

- Hamamatsu ORI-Project  
( Hamamatsu Open Regional Innovation Project )  
正式名称：“デジタル・スマートシティ浜松” **データ連携基盤を  
活用した実証実験プロジェクト**
- スマートシティ推進に必要な不可欠なデータ連携基盤のユースケースの  
創出、及び新たなアプリケーションやサービスの創出が目的。



### 直近の採択プロジェクト

- 令和3年度は**13件の応募**プロジェクトのうち、**7件を採択**

テーマ	法人名・団体名	実証実験プロジェクト名称
スマート 農業・林業	株式会社フジヤマ	3D点群データを利用した林道の利活用・維持管理・ 防災点検運用支援
スマート 農業・林業	Yui support 株式会社	キッチンカーを活用した市民参加型6次化実証プロ ジェクト
市民目線の 暮らしやすさ	国立大学法人 静岡大学	新型コロナウイルス感染シミュレーションに向けたD2D 社会実験
市民目線の 暮らしやすさ	ためま株式会社	まちの情報シェアアプリの災害時ボランティアニーズ 収集活用
市民目線の 暮らしやすさ	八千代エンジニアリング 株式会社	海域（浜名湖含む）へ排出されるプラスチック等の 人工系ごみ輸送量の実態把握
市民目線の 暮らしやすさ	(一社) One Smile Foundation	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
その他	どこでもdoerプロジェクト 事務局(個人)	どこでもdoerプロジェクト

ORI-Project

検索

<https://www.ori-project.hdsc.city/>



# Hamamatsu ORI-Project -個別事例紹介-

## 【環境】

### 八千代エンジニアリング(株)

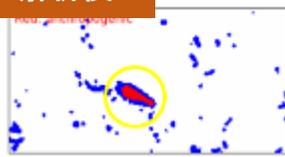
市内の河川にビデオカメラと水位計を設置し、定点監視。撮影した動画を独自技術で解析。



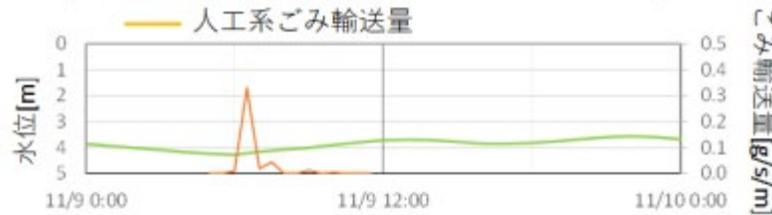
元動画



解析後



青：自然系ごみ  
赤：人工系ごみ



プロジェクト名称	海域(浜名湖含む)へ排出されるプラスチック等の人工系ごみ輸送量の実態把握
プロジェクト概要	市内の河川の水面をビデオカメラで定点撮影し、得られた動画を解析し、川から流出する自然・人工系ごみの輸送量を把握。 ごみ輸送量データをデータ連携基盤に登録することにも成功しており、地図上にごみ輸送量を見える化し、効率的な清掃活動につなげたり、市民の啓発に活かしたりするなどサービス化に向けた展開が期待される。

## 【Well-being】

### (一社)One Smile Foundation



浜松市内の協力企業4社に専用のAI笑顔検知アプリを搭載したスマホ等を約3か月間設置。



今、笑顔を検知することが一目でわかる演出。コミュニケーション促進の効果も確認。

プロジェクト名称	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
プロジェクト概要	企業の食堂等に専用アプリを搭載したスマホ等を設置して笑顔を検知を行い、カウントした笑顔の回数×1円を子ども食堂に寄付。協力した企業の社員に対し、意識調査を行い、実証前後の幸福度の変化等を分析。笑顔の回数に加え、検知した位置と時間の情報を記録でき、他の動的データとの連携による付加価値の創出も期待される。

## 【防災】

### (株)フジヤマ



林道の3D点群データの計測・分析



分析結果から抽出した危険箇所をセンサーでリアルタイムに監視

プロジェクト名称	3D点群データを利用した林道の活用・維持管理・防災点検運用支援
プロジェクト概要	市内の中山間地域の林道の3D点群データの取得・分析を行い、林道付近の危険箇所を抽出。抽出した箇所にIoTセンサーを設置し、リアルタイムでデータの収集とモニタリングを実施。データ連携基盤を活用し、林道の効率的な維持管理や防災情報の速やかな伝達を目指す。

## 浜松および愛知・名古屋地域が、内閣府の「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」に認定

### 「スタートアップ・エコシステム 拠点都市」

内閣府が、日本の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした、世界に対抗する日本型スタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点都市計画を認定するもの。

### グローバル拠点都市 (各コンソーシアム構成都市)

- ① 東京都、川崎市、横浜市等
- ② 愛知県、名古屋市、**浜松市**
- ③ 大阪市、京都市、神戸市等
- ④ 福岡市

大都市圏の中に  
なぜ浜松市？  
**注目度大**

浜松市 スタートアップ・エコシステム拠点形成計画の概要 R2.4~R7.3

※浜松市スタートアップ戦略推進協議会 浜松市スタートアップ戦略

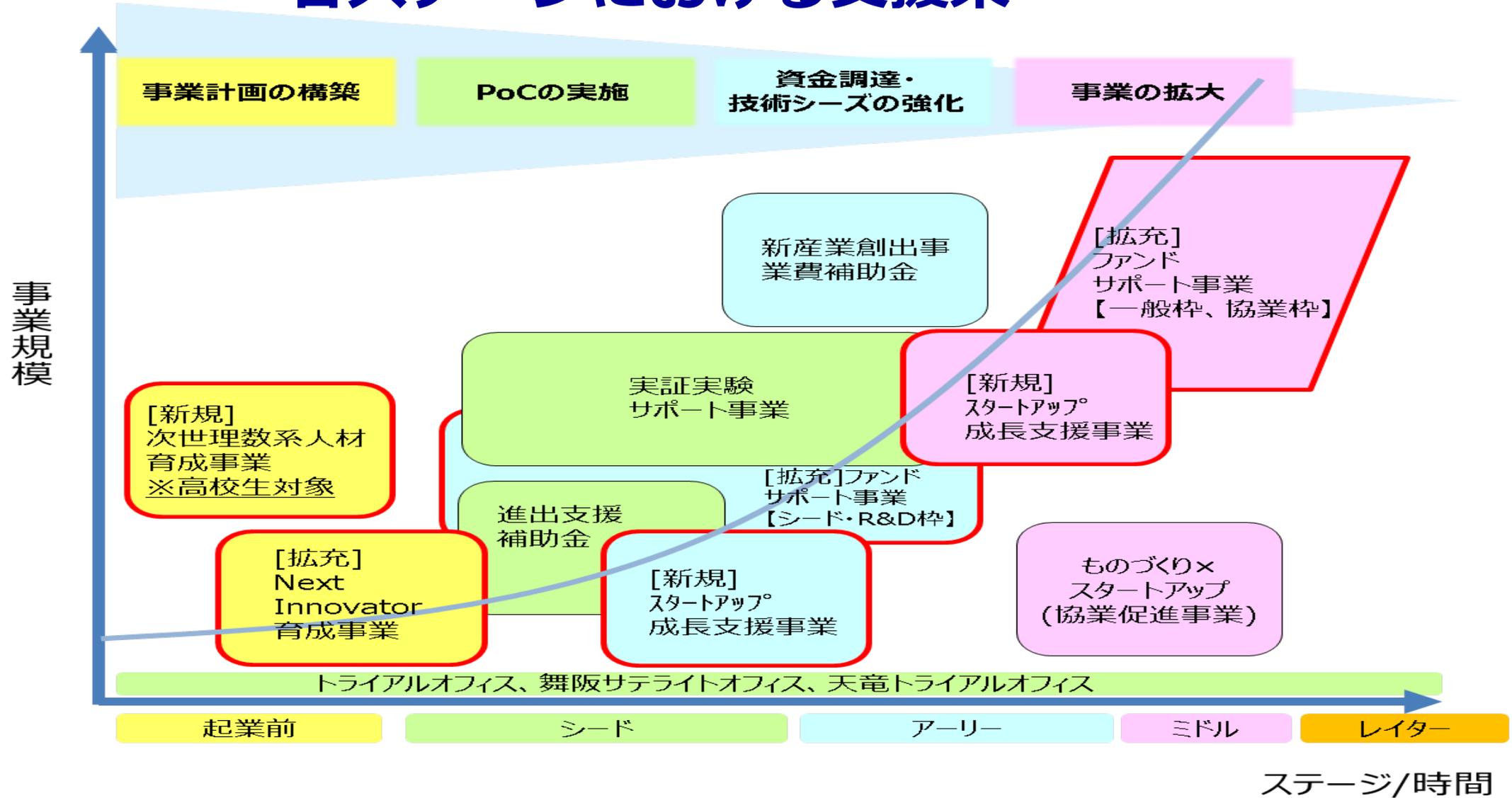
**ビジョン**  
スタートアップのアイデアと、ものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていく。  
将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「ものづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うことで、日本経済の発展に寄与する。

構成機関	戦略	KPI
<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島大学</li> <li>浜松医科大学</li> <li>元彦彦成成大学院大学</li> </ul>	<b>戦略1</b> スタートアップの創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産学を促進する環境の整備</li> <li>■ 大学や研究機関の研究シーズの事業化</li> <li>■ アンレブレナリーシップ教育の強化</li> </ul>	<b>KPI</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業数 10→30社/年</li> <li>イベント開催数 102→300回/年</li> <li>ファンド調達数 11→30億円/年</li> <li>企業等との連携数 25→75件/年</li> <li>市外からの進出数 4→12社/年</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋商工大学</li> <li>三井物産</li> </ul>	<b>戦略2</b> スタートアップの成長力強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営に必要なノウハウ等を習得できる場の提供</li> <li>■ 経営者をはじめとした専門人材の獲得支援</li> <li>■ グローバル化・海外展開の支援</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>三井物産</li> </ul>	<b>戦略3</b> 資金調達環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 制度融資や補助金の充実</li> <li>■ スタートアップへの投資の促進</li> <li>■ 新たな資金提供者の創出</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>三井物産</li> </ul>	<b>戦略4</b> オープンイノベーションの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ スタートアップとのマッチングの場の創出</li> <li>■ 拠点、ネットワークの活性化(イベント強化など)</li> <li>■ 積極的なスタートアップとの連携や先端技術の活用</li> <li>■ 試作等の支援</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>三井物産</li> </ul>	<b>戦略5</b> スタートアップの誘致 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報発信力の強化</li> <li>■ 本市進出の機会づくり</li> <li>■ 本市に進出するスタートアップがビジネスしやすい環境の整備</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>三井物産</li> <li>三井物産/ロジ</li> </ul>	<b>戦略6</b> スタートアップ支援力の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支援者のスキル強化</li> <li>■ 支援機会の増大</li> </ul>	



竹本大臣(当時)表敬訪問

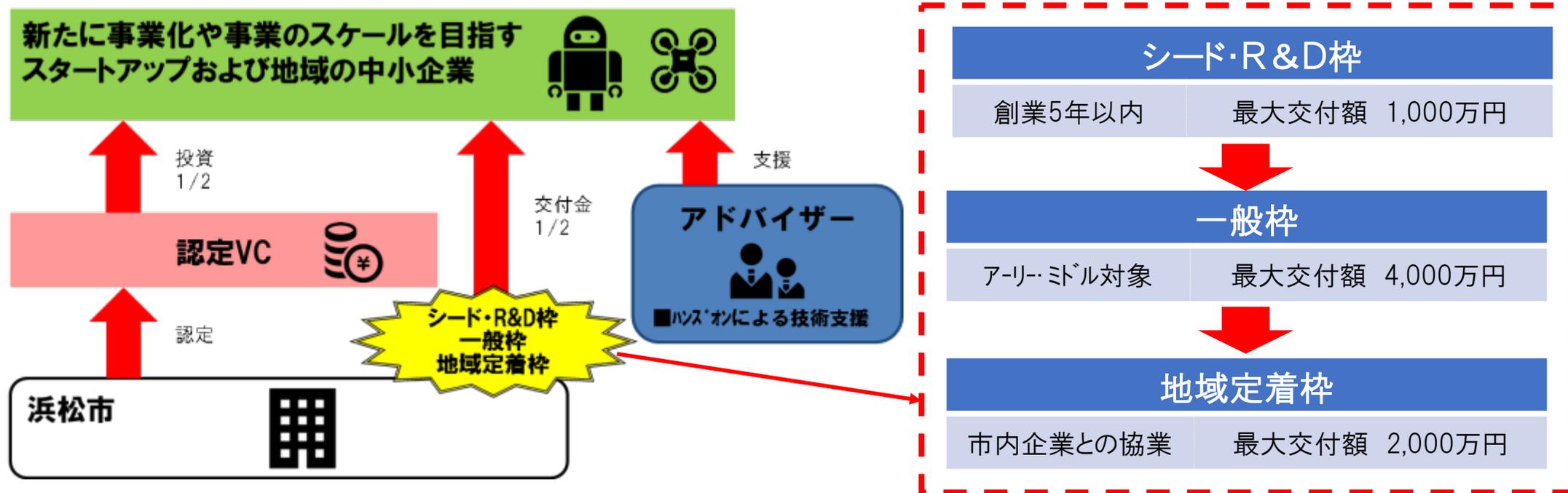
## 各ステージにおける支援策



# 浜松市のスタートアップ政策

## スタートアップ誘致・育成 ～ファンドサポート事業～

市内におけるベンチャー投資の活性化を通じ、ベンチャーキャピタル等が市内のスタートアップに投資しやすい環境整備を行う。



### ■浜松市認定VC **41**社（令和4年4月1日現在）

伊藤忠テクノロジーベンチャーズ、Plug & Play Japan、グローバル・ブレイン、DRONE FUND、Beyond Next Ventures、インキュベイトファンド、ゼロワンブスター、大和企業投資、SMBCベンチャーキャピタル、三菱UFJキャピタル 等

# 浜松市のスタートアップ政策

## ファンドサポート事業 採択事業者 例

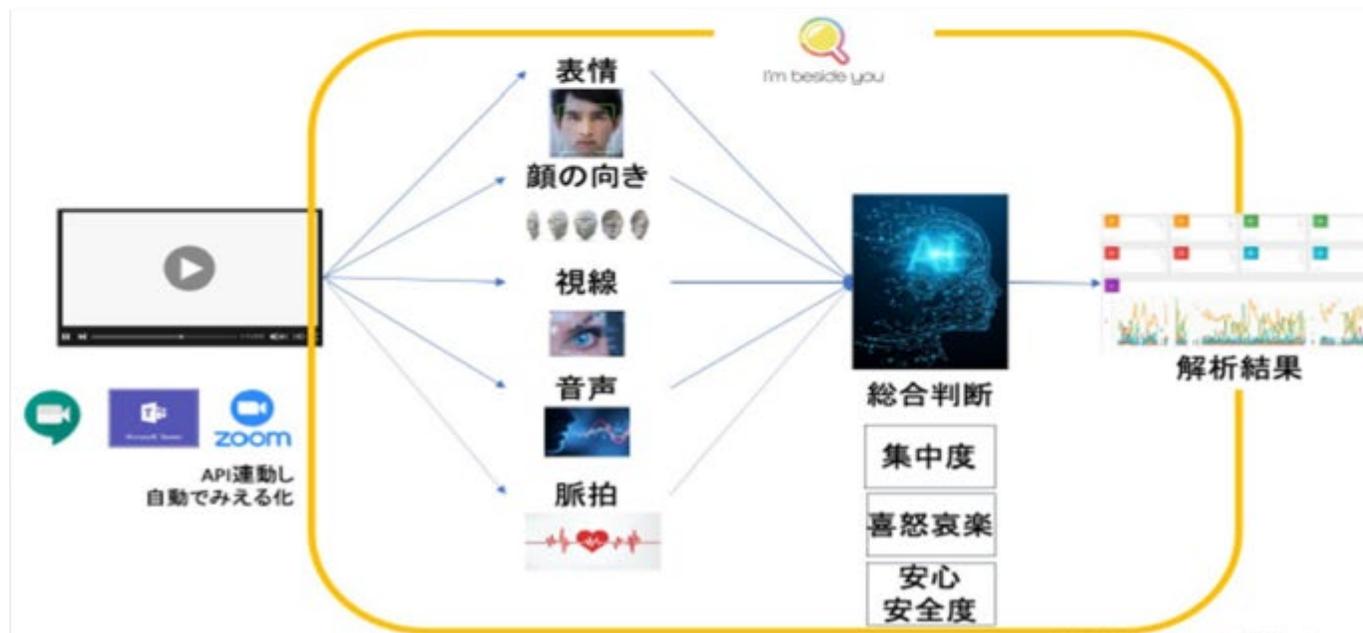
(2020年度採択)



### (株) *I'm beside you*

#### ■ 動画解析AIによる市民のメンタルヘルス状況観察で、ウェルビーイングを促進

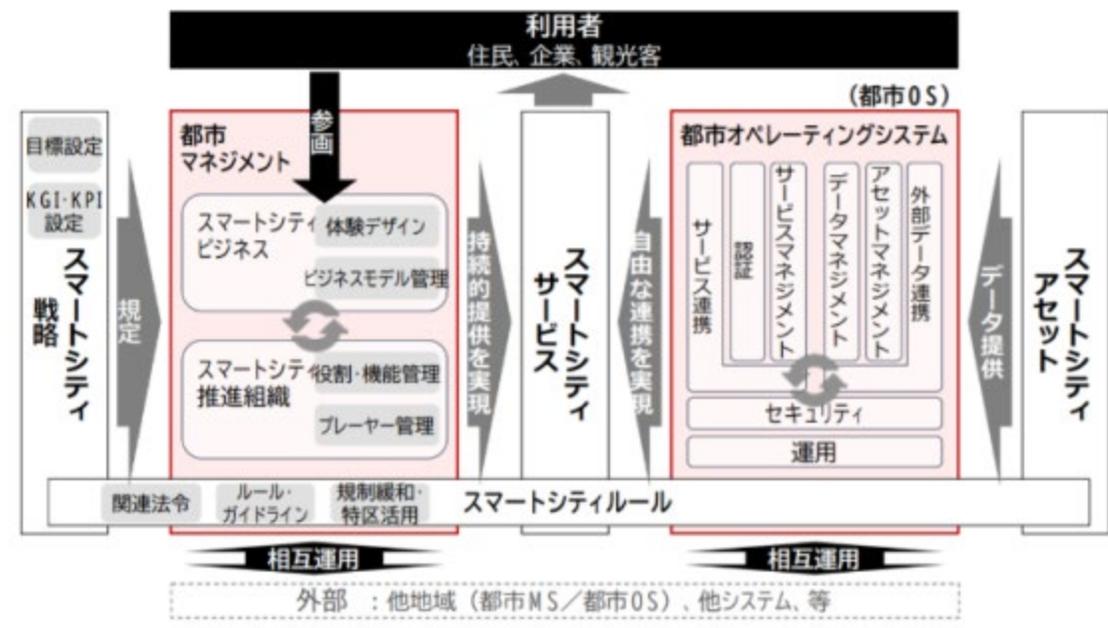
- ▶ オンラインコミュニケーションで得られる情報をAIで見える化、その人の気持ちをより深く理解
- ▶ 教育領域から、新たにメンタルヘルス向けのオンライン問診に挑戦
- ▶ メディカルDXを推進している市内の医大との連携を推進



# 国土縮図型都市・浜松の特徴を活かし、 デジタル田園都市国家構想のリファレンスシティに！



国土縮図型都市・浜松



リファレンスアーキテクチャー



白坂フェロー



- 多様な目的：国土縮図型で多様な対象への多彩なサービス
- 住民起点の都市OS：ユースケース駆動 & Make our City
- 官民協創型：トップのコミットメント、みんなが活躍

「やらまいか」x「分析・整理」x「継続的進化」  
 = リファレンスシティ浜松

出典：白坂フェロー講演資料

最後に

# Make our City!

©Code for Japan



## 浜松から、やらまいか！

- (1) 浜松市デジタル・スマートシティ構想**
- (2) デジタル・スマートシティにおける各分野の取組**
- (3) LWCIを活用したWell-beingの向上に向けて**
- (4) 浜松バレー構想**

# 浜松市デジタル・スマートシティ構想

## 将来像

### ～デジタルで“繋がる未来”を共創～

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化、コロナ禍の状況においてデジタルの力を最大限に活用し、「市民QoLの向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。

## 目指す方向性（基本理念）

### 「市民QoLの向上」と「都市の最適化」

#### 必要な視点1

#### オープンイノベーション

イノベーションの創出に向け、組織や分野等を越えた共創のまちづくりを推進します。



#### 必要な視点2

#### 市民起点/サービスデザイン思考

デジタルは、「市民QoL」「都市の最適化」のための手段と捉え、“市民起点”のまちづくりを推進します。



#### 必要な視点3

#### アジャイル型まちづくり

スモールスタートでまずチャレンジし、トライ&エラーを繰り返して、変化に強いまちづくりを推進します。



#### 基本原則1

オープン/相互運用性

#### 基本原則2

包摂性/多様性

#### 基本原則3

透明性/プライバシー

#### 基本原則4

持続可能性

#### 基本原則5

安全・安心/強靭性

## 第一期（2020年度～2024年度）における重点取組分野

2020年度から2024年度の5年間で第一期と位置づけ、①本市の強みを活かした取組、②ウィズコロナ、ポストコロナのニューノーマルや安全・安心への対応、③課題解決型アプローチによる持続可能で包摂的な社会の構築に向けた取組、④推進基盤の構築や強化に重点的に取り組みます。

### ①浜松の強みを 唯一無二のものに

#### ウェルネス

- 「予防・健康都市浜松」実現に向けた官民連携
- 健康情報を活用した生活習慣病等の予防・改善
- 介護ロボット等の活用による介護従事者の負担軽減
- AI等を活用した健診（検診）の受診率向上

#### 音楽文化・ エンターテイメント

- デジタル技術を活用した文化事業の実施
- ニューノーマル時代のエンターテインメントの新たな楽しみ方の創出と普及
- インターネットを活用した音楽文化等の発信とリモートによる国際交流の推進

#### 産業（ものづくり・農林業）

- 国土強靱都市・浜松のフィールドを活用した新たなサービスやソリューションの創出
- サテライトオフィス等を活用したベンチャー企業等の誘致
- 先端技術を活用したスマート農林業の推進
- 中小企業の生産性向上に向けたIT（情報技術）・IoT等の活用支援

#### 観光・商業

- デジタル・マーケティングの活用による情報発信
- 新しい生活様式に即した観光の活性化と賑わいの創出
- 関係人口の拡大や多拠点居住の促進
- デジタル活用による移住・定住・交流の促進
- キャッシュレスの推進
- デジタルを活用したインセンティブ（相長・奨励）付与による誘客や消費活性化の研究

### ②浜松らしい ニューノーマル社会の実現を目指して

#### リモートワーク・ 多拠点居住

- 関係人口の拡大や多拠点居住の促進
- デジタル活用による移住・定住・交流の促進
- リモートワークやテレワークの推進
- テレワークパーク構想の推進
- 副業・兼業人材の活用促進

#### 見守り・ 災害対応

- IoT等を活用した高齢者や子どもの見守り推進
- 災害予測や災害状況の効果的な把握
- 災害関連情報の効果的な提供
- 避難所の効果的な3密対策

#### 教育・ 子育て

- GIGAスクール構想の実現に向けた教育環境整備
- オフライン授業とオンライン授業のハイブリッド（組み合わせ）による持続可能な教育の推進
- ICT（情報通信技術）等を活用した子どもや子育て世代への効果的な情報提供や相談体制の構築

#### デジタル・ ガバメント （電子行政）

- 書面規制・押印・対面規制等の見直し
- 行政手続きのオンライン化やキャッシュレスの推進
- マイナンバーカードの取得促進とマイナンバーカードを活用した行政サービスの拡充
- 多様な伝達手段による情報の提供
- AIやICT等の活用による生産性の向上
- DX推進に向けた職員の人材育成

### 第一期

## デジタル・ スマートシティ 浜松 の基礎固め

### ③デジタルの力で持続的・包摂的社會を構築

#### モビリティ （移動・物流）

- モビリティとサービスの連携による持続可能なまちづくりの推進
- モビリティサービス推進コンソーシアムを中核とした官民連携によるプロジェクトの創出
- 医療MaaSの推進
- フードデリバリープラットフォームの推進
- テレワークパーク構想の推進

#### インフラ （社会生活基盤）

- ドローンやセンサー等の活用によるインフラの老朽化対策
- 点群データなどインフラ情報のデジタル化
- 都市のデジタル化推進におけるインフラの利活用や高度化の検討

#### 社会参加促進

- AIやICT等の活用による障壁の除去
- バリアフリー情報等のオープンデータ化の促進
- 情報へのアクセシビリティの向上
- ICT技術やSNS等を活用した市民参加の促進
- シニア向けスマートフォン講座等の充実

#### エネルギー・循環型社会

- 「浜松市域"RE100"」の実現に向けた推進
- スマートコミュニティ、スマートタウンのモデルの構築
- オープンプロジェクトの実現
- 新誘導工場及び新燃料処理センターをモデルとしたサーキュラーエコノミーの推進

### ④共創の基盤を構築しより強固なものに

#### 官民共創による 推進体制の強化 CREATION

- 浜松市フェロー等外部人材の活用
- 官民共創によるプロジェクト創出に向けたアイデアソン等の開催
- 次代を担う若者世代の巻き込み
- 官民連携プラットフォームを活用した分野別の連携促進
- シビックチェックとの連携や共創

#### 人材育成

- 次代を担う若者の育成
- データ利活用に関するセミナーやハッカソン等の開催
- シニア向けスマートフォン講座等の充実
- 人材育成におけるリモートやオンラインセミナー等の活用
- 人材育成における大学やCode for Japan等との連携

#### データ連携基盤の整備や オープンデータの拡充 DATA

- データ流通のハブ（中継地）となるデータ連携基盤の整備と利活用
- データ連携基盤の活用事例の創出（「ORI-Project」の推進）
- オープンデータプラットフォーム（ODPF）の整備と利活用
- 点群データのオープンデータ化と利活用促進

#### 通信基盤等の 整備や利活用促進 5G

- 中山間地域等への光ファイバ網の整備支援
- 5Gアンテナ基地局の設置や利活用の促進
- 各種通信（高速・低遅延等）活用の事例の共有と横展開
- 活用事例の創出やニーズ喚起による各種通信インフラ整備の働きかけ

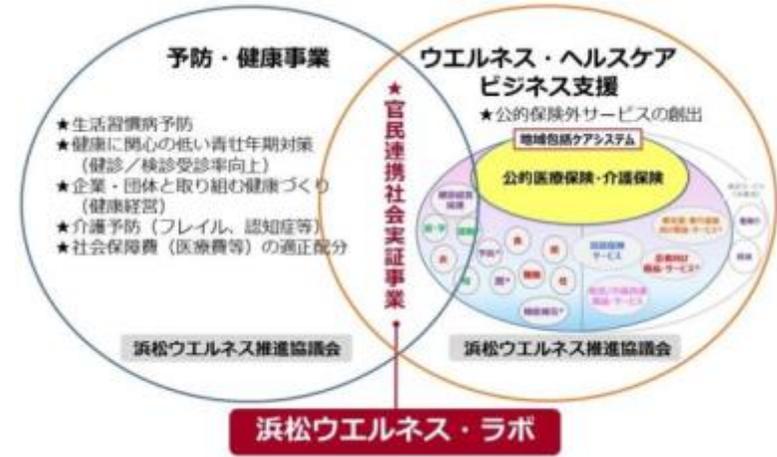


## 「予防・健幸都市 浜松」の取り組み

- 浜松ウェルネスプロジェクトは、「予防・健幸都市」の実現を目指す官民連携プロジェクト。
- 浜松ウェルネス・ラボは、本プロジェクトにおける官民連携プラットフォームの1つとして、地域外の大企業と共に、市民の「疾病・介護予防」や「健康増進」に寄与する“浜松発”の様々な官民連携社会実証事業等を展開し、データやエビデンス等を取得。
- 取得データ等は、ウェルネスラボ内のデータプラットフォームに蓄積し、市は予防・健康づくり施策に活用、各社はビジネス展開に活用。

## 健康寿命 3 期連続日本一

浜松ウェルネスプロジェクト

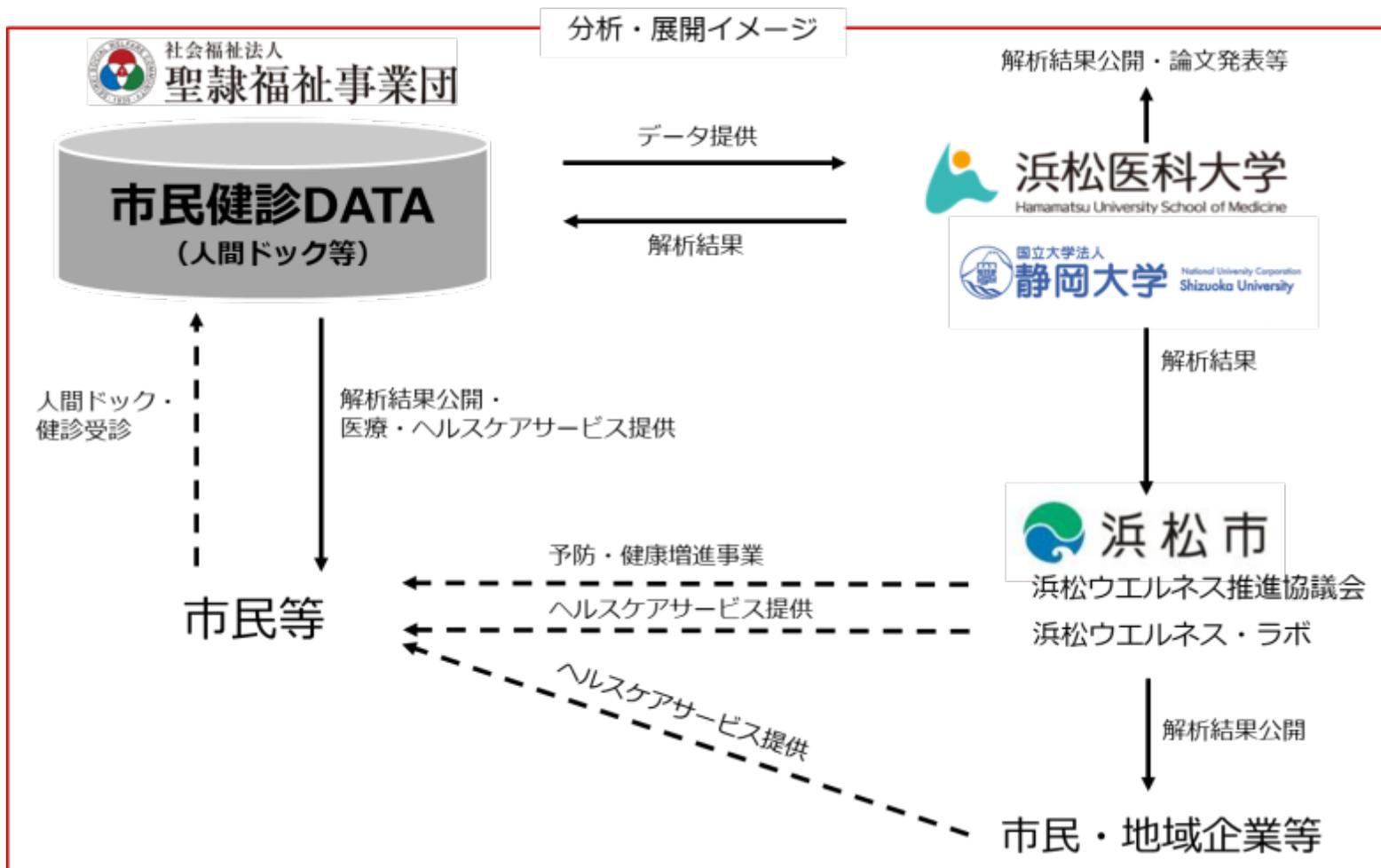


企業名 (50音順)	事業名	目的
 	1. 聖隷MCIスタディ	認知機能改善
	2. ロコトレ参加者等に対する脳の健康に関する介入	認知機能改善
	3. 中高齢者対象の嗅覚機能と気分・ストレス状態に関する調査研究	健康増進 (精神面)
	1. スミセイ“Vitality Action”	健康増進
	1. 脳ケアアプリによる早期認知機能低下予防	認知機能改善
	2. デジタル技術&ヒューマンタッチによる血糖コントロール	生活習慣病予防 (糖尿病)
	1. 健康増進アプリによる健康増進活動サポート	生活習慣病予防・健康増進
	2. IOT歯ブラシを活用したオーラルケアによる生活習慣病予防 (歯周病)	生活習慣病予防 (歯周病)
	1. ウォーキングアプリを活用した健康増進イベント (企業・事業所対抗ウォーキング大会)	健康増進



## 健康ビッグデータ分析

- ▶ 聖隷福祉事業団、浜松医科大学、浜松市が連携して、聖隷福祉事業団が有する健診（人間ドック）ビッグデータを活用し、本市の健康寿命日本一の所以や本市（市民）が抱えている疾病リスクなど多角的かつ詳細に明らかにする。
- ▶ 市や関連団体等は、分析結果を「予防・健幸都市」実現に向けた施策や各種事業に活用する。



# デジタル・スマートシティ浜松の推進【ウェルネス×モビリティ】

Digital Smart City  
HAMAMATSU



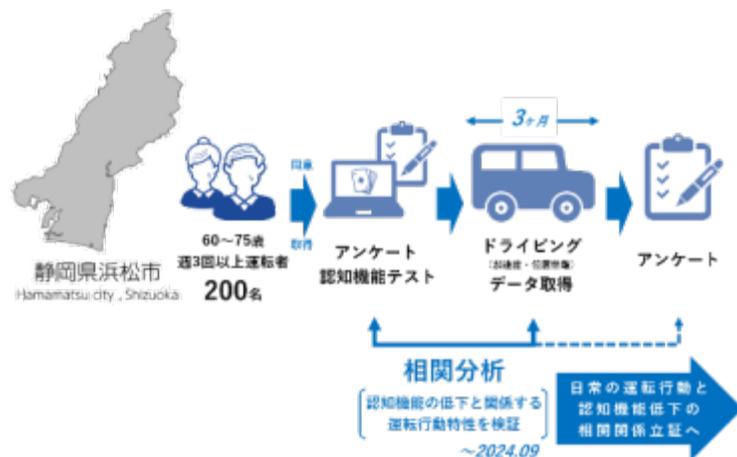
日常の運転と認知機能の関係性について、浜松市で実証事業を開始  
～安全に長く運転を続けられる社会の実現を目指して～

## 目指したい社会

人生100年時代に、80・90歳になっても移動の自由を奪うことなく、  
1日でも長く安全に、いきいきとした生活を実現したい。

そのために、毎日の通勤時に運転をしているだけで、  
どこよりも早く認知症の兆候を検知し治療・予防に結び付ける

## 事業概要



### <対象>

浜松市在住等の60歳～75歳の健康成人  
200名

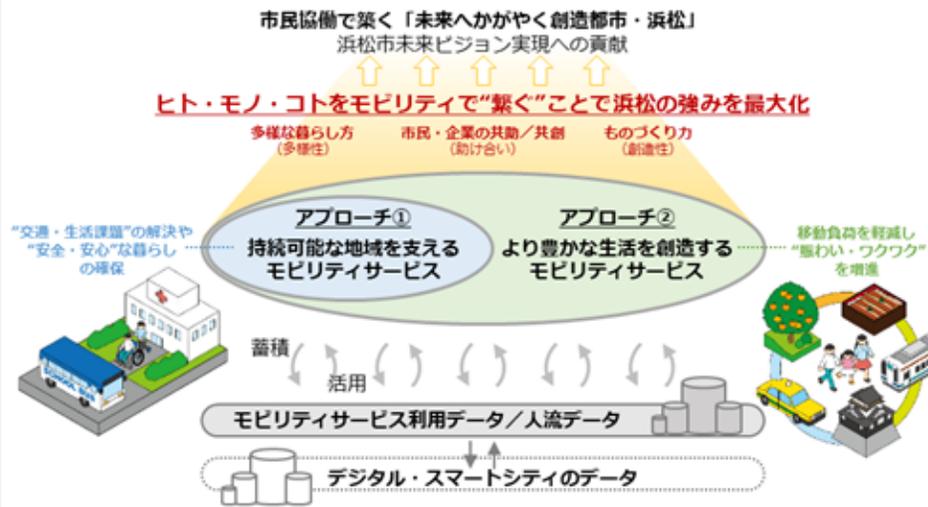
### <方法>

- ① 認知機能テスト2種類(MMSE、  
のうKNOW)とアンケートを実施
- ② ドライビングデータを3ヶ月取得
- ③ 認知機能テストの結果とドライビ  
ングデータの相関関係を検証

## 浜松版MaaS構想

### MaaS推進の考え方

喫緊の課題への対応（アプローチ①）と、未来へのチャレンジ（アプローチ②）を組合せて取り組みながら多様性・創造性といった浜松市の強みを最大化していきます。



### 推進体制:

市民・企業の主体的参加で創造性の高いエコシステムを形成していきます。



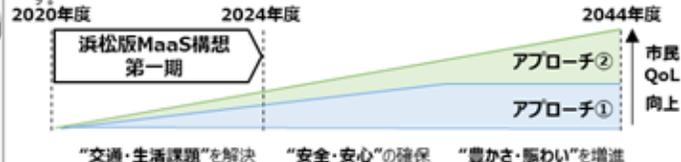
### 中核となる「浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム」

官民が連携し、モビリティサービスを生み出すプロジェクト創出を支援しています。「浜松市デリバリープラットフォーム」や「浜松テレワークパーク構想」など、様々なプロジェクトが立ち上がり、創造性の高いエコシステムを形成しています。



### ロードマップ:

2020年度から2024年度の5年間で第一期と位置づけ、交通・生活課題解決から着手し、モビリティサービスの連携や官民共創の取組を推進し、浜松版MaaSの基礎固めを行います。



## Foodelix



## 浜松テレワークパーク構想



## 持続可能な地域交通の確立

自家用車を活用した  
乗り合いの促進



## 浜松市スマートシティ推進協議会

2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指し  
浜松市域“RE100”を表明 (令和2年3月)

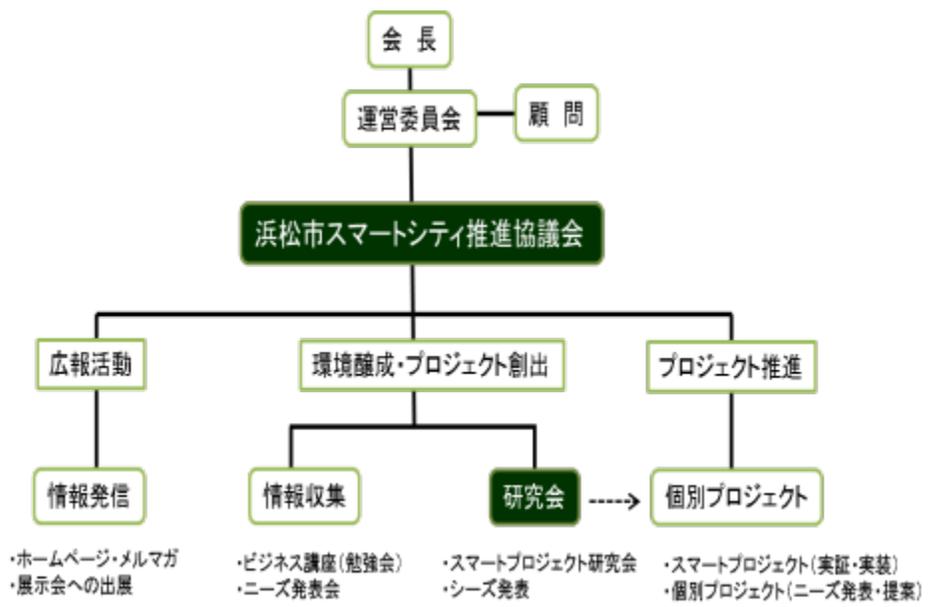
- ・浜松版スマートシティ形成に関する産学官金プラットフォーム。
- ・浜松市をフィールドとして事業化に向けた様々なスマートプロジェクトを展開中



設立：平成27年6月22日  
会員数：176団体 (令和3年7月31日現在)  
※75団体 (設立時)  
(会員内訳：市内81、市外95)

再生可能エネルギー導入容量 **全国第1位**

導入容量 587,582kW (令和2年3月末時点)



# LWCIを活用したWell-beingの向上に向けて

## LWCIから見た浜松市の特徴

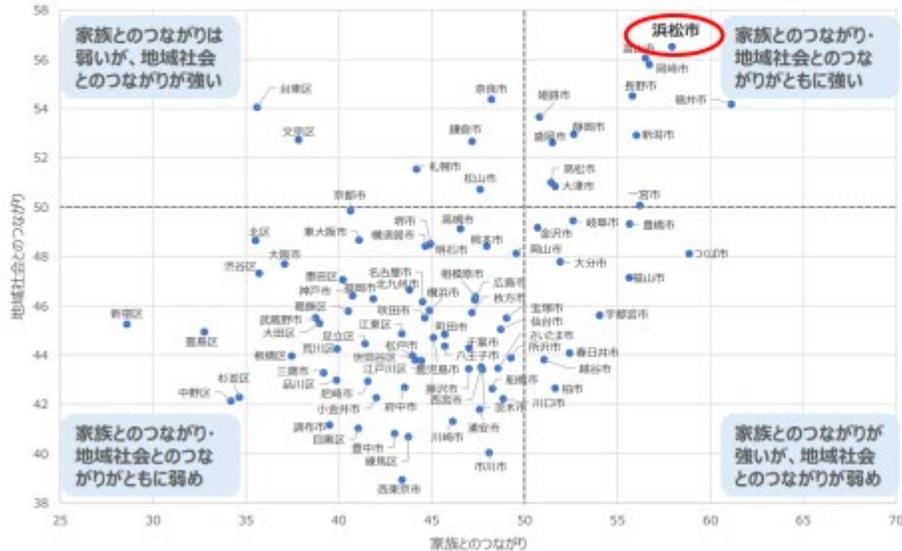
### 【社会】

### 【環境】

【社会】 社会関係資本を構成する「家族とのつながり」と「地域社会とのつながり」がともに高い都市は、浜松市や福井市

【環境】 自然環境が豊かで自治体や市民が環境共生の取組みを推進している都市は浜松市や札幌市。都心やベッドタウンは自然が少ないが、環境共生の取組みは進んでいる

家族とのつながり vs. 地域社会とのつながり



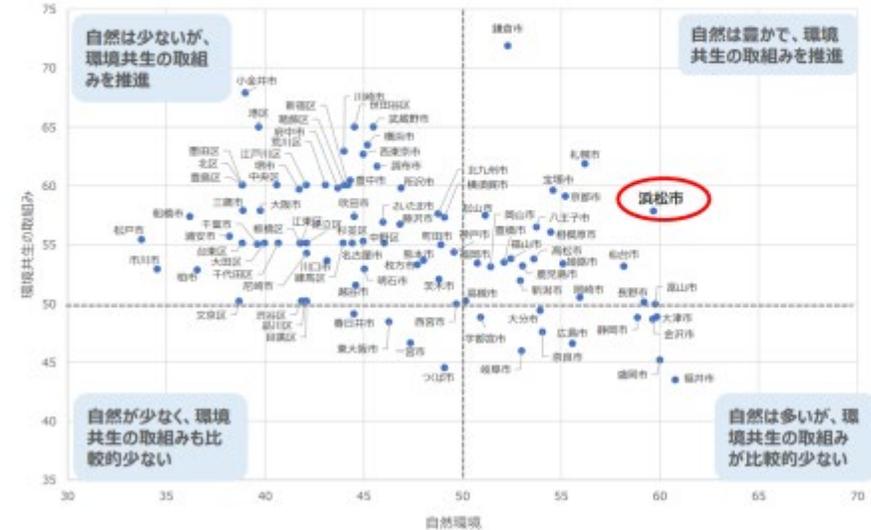
**家族とのつながりを構成するKPI**

- ・ 拡大家族世帯割合
- ・ 既婚者割合（15歳以上人口）
- ・ 高齢単身世帯割合

**地域社会とのつながりを構成するKPI**

- ・ 居住期間が20年以上の人口割合
- ・ 自治会・町内会加入率
- ・ 10万人あたり政治・経済・文化団体の数
- ・ 10万人あたり宗教法人の数
- ・ 10万人あたりNPOの数
- ・ 首長選挙の投票率
- ・ 市区町村議会選挙の投票率

自然環境 vs. 環境共生の取組み



**「自然環境」を構成するKPI**

- ・ 非可住地面積割合
- ・ NOx平均値
- ・ PM2.5年平均値

**「環境共生の取組み」を構成するKPI**

- ・ 市民一人当たりの自動車CO2排出量
- ・ ごみのリサイクル率
- ・ 環境共生指数
  - ・ SDGs未来都市
  - ・ 2050年ゼロカーボンシティ
  - ・ グリーン契約の契約方針の有無
  - ・ 気候変動イニシアティブへの参加

# LWCIを活用したWell-beingの向上に向けて



## LWCIから見た浜松市の特徴

### 【客観カテゴリー】

複数の客観カテゴリーにおいて上位に位置する都市（東京23区を除く）は、武蔵野市（7カテゴリーでトップ3）及び福井市（4カテゴリーでトップ3）。鎌倉市、京都市、大阪市、富山市、浦安市、小金井市、札幌市もトップ3の常連都市

### 【浜松市の概要】

浜松市の概要：環境が豊かで地域のつながりが、全国トップレベル。医療・健康、子育て、雇用・所得、多様性にも強みがある等、押し並べて強みが目立つオールラウンドプレーヤー的。交通事故件数の多さ、自然災害リスクが課題

#### 【身体的健康】

#### 【社会的健康】

#### 【精神的健康】

	医療・健康介護・福祉	健康・生活・清潔	住宅環境	移動・交通	空・騒音・清潔	事故・犯罪	自然災害	環境共生	遊び・娯楽	公共空間	雇用・所得	デジタル生活	地域とのつながり	子育て	初等・中等教育	教育環境の選択可能性	事業創造	文化・芸術	多様性	
1	岡崎市	盛岡市	神戸市	富山市	札幌市	金沢市	横浜市	北九州市	鎌倉市	武蔵野市	武蔵野市	浦安市	仙台市	浜松市	浜松市	武蔵野市	武蔵野市	福岡市	京都市	武蔵野市
2	小金井市	福井市	名古屋市	福井市	鎌倉市	富山市	西東京市	札幌市	札幌市	盛岡市	浦安市	福井市	つくば市	富山市	西宮市	大阪市	小金井市	大阪市	姫路市	小金井市
3	仙台市	長野市	金沢市	一宮市	京都市	新潟市	町田市	鹿児島市	京都市	大阪市	東大阪市	武蔵野市	武蔵野市	福井市	浦安市	西東京市	鎌倉市	つくば市	大津市	三鷹市
4	調布市	金沢市	越谷市	岐阜市	横浜質屋	長野市	船橋市	盛岡市	小金井市	金沢市	吹田市	富山市	浦安市	岡崎市	福山市	小金井市	三鷹市	名古屋市	奈良市	浦安市
5	八王子市	宝塚市	広島市	福山市	宝塚市	仙台市	調布市	富山市	宝塚市	名古屋市	高槻市	岡崎市	富山市	長野市	明石市	鎌倉市	浦安市	武蔵野市	富山市	川口市
6	長野市	富山市	岐阜市	長野市	府中市	浜松市	川崎市	福岡市	浜松市	横浜質屋	枚方市	長野市	横浜市	新潟市	びわま市	調布市	調布市	札幌市	新潟市	宝塚市
7	三鷹市	広島市	京都市	新潟市	尼崎市	盛岡市	三鷹市	宝塚市	武蔵野市	富山市	大阪市	金沢市	北九州市	姫路市	北九州市	京都市	西東京市	三鷹市	金沢市	大阪市
8	府中市	岡山市	福岡市	姫路市	広島市	大津市	府中市	仙台市	横浜市	大分市	尼崎市	豊橋市	札幌市	静岡市	新潟市	八王子市	西宮市	小金井市	鎌倉市	町田市
9	町田市	那本市	大阪市	豊橋市	浦安市	豊橋市	市川市	八王子市	川崎市	福井市	西宮市	つくば市	神戸市	鎌倉市	広島市	福山市	吹田市	大津市	大阪市	一宮市
10	浦安市	鹿児島市	明石市	大津市	藤沢市	静岡市	鎌倉市	明石市	相模原市	福岡市	八王子市	大分市	広島市	つくば市	名古屋市	浦安市	町田市	宝塚市	福井市	明石市

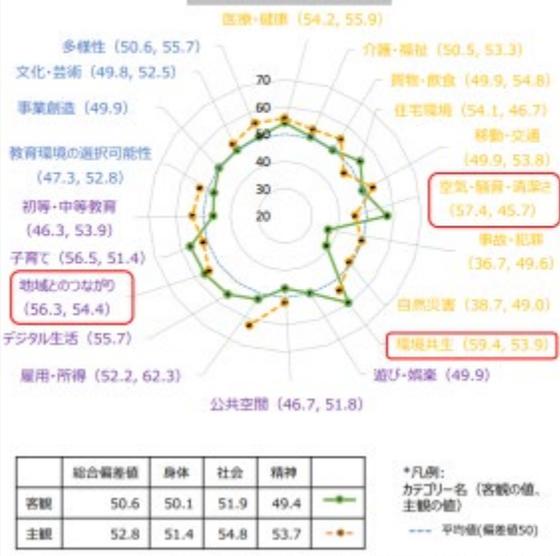
#### 概要

人口	約80万人	高齢化率	約26%
可住地人口密度	1,640人/km2	昼夜間人口比率	99%
都市の特徴・周辺地域との関わり	浜名湖を有する自然豊かな政令市。中部地方では名古屋市に次ぎ、静岡県および三遠南信最大の人口。市内に大手自動車メーカーの本社が所在し、周辺に自動車部品工場も多い工業都市。高速道路や新幹線駅もある周辺地域のリーダー。		
将来都市像	「市民協働で築く未来へかがやく創造都市・浜松」		

#### サマリー

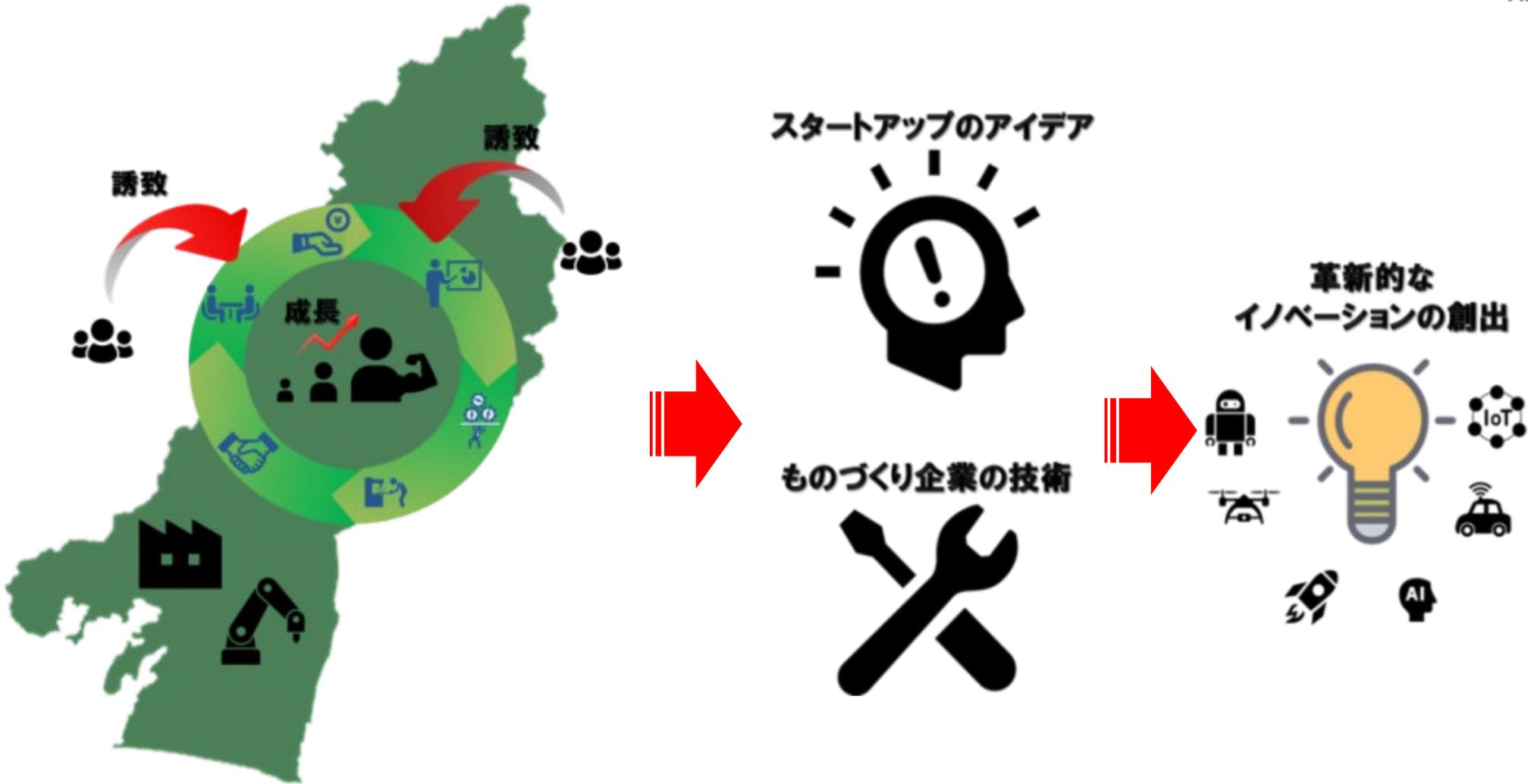
- 「自治会・町内会加盟率」、「選挙投票率」、「拡張家族世帯割合」等で示される地域とのつながりは、日本トップクラス。分厚い社会関係資本が、浜松市の顕著な強み。
  - 続いて、自然環境（非可住地面積割合）が多く、空気・騒音・清潔さも高水準。環境共生に関する活動も活発と、自然環境との共存意識も高い。
  - 病院・診療所、夜間・緊急医療体制、スポーツ施設等、医療・健康に関する満足度が高く、健康寿命は、男女ともに極めて高水準であることも大きな特徴。
  - 市議会における女性議員の割合の高さや子供や若者の多さが顕著であり、多様性の評価が高い。
  - 子育てに関しては、「歳出総額における教育費の構成比」が際立って高く、「合計特殊出生率」も高い。子育て環境に関する満足度も平均を上回る。
  - 雇用も若年層から高齢者まで高い水準となっており、「仕事が見つけやすい」という主観的評価。
- 全体的に主観・客観的に高水準のオールラウンドプレーヤー的なパフォーマンスがあるが、交通事故件数の多さおよび自然災害リスクをどう減らすかは課題。

#### カテゴリー別偏差値



主観データの出自：日経BP 総合研究所「シティブランドランキング2021」

# 今後、LWCIを活用し、Well-being向上に向けた効果的なPDCAに繋げる



スタートアップが集積、成長する環境が整うことで次々と新たなスタートアップが生まれる好循環(エコシステム)が確立している都市づくりの構想。スタートアップと地域のものづくり企業との融合による新産業の創出を目指す。